



傾聴ボランティアの様子。たくさん話すことで明るく元気に。



和やかなムードの定例会。共感することで、新しい福祉が見えてきます。



会員の鈴木イミ子さん。「私にもできることがきっとあるはず」と傾聴ボランティアに手を挙げました。

「みみの会」代表の太田啓子さんは、発足当時からメンバーの一人。「傾聴ボランティアは、その名の通り相手の声に耳を傾けるボランティア活動です。カウンセラーとは異なり、会話の中で解決法をアドバイスしたりすることはありませんが、話した後の相手のほっとした表情を見るとこころまで和んでしまいます。やり甲斐のある活動ですよ」と元気に話してくれました。同じく会員の鈴木イミ子さんからも「私自身ふだんは農業を営んでいますので、ひとり暮らしで農業を頑張っている方のお話はとても共感できます。ひとしきり話した後、また来てねと言



「話を聞くうちに新しい話につながって…。それが傾聴ボランティアの魅力」と代表の太田啓子さん。

時間を忘れて楽しく！
高齢者とのコミュニケーション

小さな声にも耳傾けて——。 福祉をつなぐ傾聴ボランティア

～鮫川村・傾聴ボランティア「みみの会」～



傾聴ボランティア「みみの会」の定例会の様子。地元で暮らしと暮らし高齢者のさまざまな話題が飛び出します。

みんなで
育てる
地域福祉



鮫川村

取材協力

鮫川村社会福祉協議会

〒963-8401

東白川郡鮫川村大字赤坂中野字宿ノ入35
(高齢者総合福祉センターひだまり荘内)

TEL 0247-49-3600

みんなの声を
つないで
生きた傾聴ボランティア

鮫川村では、平成20年度より傾聴ボランティアを行っています。月に数回、ひとり暮らしの高齢者やグループホームの入居者のお宅を訪問し、孤立しがちな高齢者からお話をうかがうこの活動は、村で行っている他の福祉活動とも連携しながら地域の笑顔を支えています。

傾聴ボランティア「みみの会」は、鮫川村社協と地域包括支援センターが連携して取り組んでおり、現在ボランティア会員17名が活動しています。昨年度は155件(地元の高齢者18名)の訪問活動を行いました。

「傾聴ボランティアをはじめたきっかけは、現在傾聴ボランティアとして活動している方が、同じ地域に住む高齢者の方のお宅に訪問した時、話がとて面白くて、もつとじっくり聴きたいという気持ちになった」と地域包括支援センターの窓口で話されたことでしたと教えてくれたのは、鮫川村社協の蛭田美幸さん。山間部に住むひとり暮らしの高齢者にとって、訪問者との会話は何よりも楽しみというのを蛭田さんは



鮫川村社会福祉協議会の蛭田美幸さん。傾聴ボランティアの発足に尽力し、会員の声のつなぎ手として活躍しています。

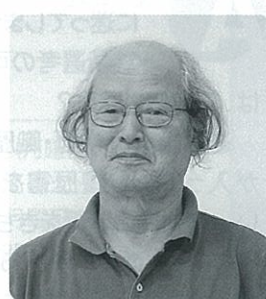


鮫川村の地域包括支援センターの前田春江さん。「私たちのモットーは、あなた一人のために一緒に考え、安心して暮らせるお手伝い」です。

日頃から肌で感じていたと話します。その思いがカタチになったのは、平成19年度に鮫川村社協が主催した「傾聴ボランティア養成講座」のことでした。その講座が芽となり、受講者の有志者からなる「みみの会」が発足しました。

「みみの会」の窓口である地域包括支援センターでは、他にも赤十字奉仕団や民生委員、NPOといった地域で活動している団体から地域の声をひろい集め、必要な福祉サービスにつないでいます。センター長の前田春江さんは「地域包括支援センターでは、地域の困りごとをさりげなく吸い上げる体制ができています。鮫川村は人口約4千人と少ない村です。インフォーマルサービスを重視して住民一人ひとりの福祉の需要に応えていきたい」と将来を見つめています。

※公的な制度によるサービスでは行き届かないニーズに対し、家族や近隣住民、知人、ボランティア等が行う支援のこと。



「傾聴ボランティアがきっかけで地元高校生もひとり暮らし高齢者とふれあうようになりましたよ」と会員の川辺孝三さん。川辺さんは和紙漉きの技を習得している方や、戦争の悲惨な体験を記憶している方とのこれまでの出会いをとおして、若い世代へこのバトンをつないでいきたいと考えています。

「村の高齢者から見れば、ボクらなんて鼻たれ小僧みたいなもの。老いて学べば即ち朽ちず」という信念を傾聴ボランティアで学びました。

2ヶ月毎に開かれる「みみの会」の定例会には、社協職員と地域包括支援センター職員も参加し、会員と活発な意見交換を行うとともに、次回の訪問先の日程をその場で決めていきます。

会員から寄せられた訪問先の様子や感想などは、記録シートにまとめられ、地域の見守り体制の貴重な情報源となっています。



「正しく聴くためには相手に同調することが大切」と会員の中井公子さん。

取材の最後に蛭田さんは、「地域に求められる福祉の需要を一度に見わたすことができるのが傾聴ボランティアの優れたところ。ゼロから始めた活動でしたが、今では私のかけがえのない宝物です」と村の元気を明るく応援しています。

地域の最後に蛭田さんは、「地域に求められる福祉の需要を一度に見わたすことができるのが傾聴ボランティアの優れたところ。ゼロから始めた活動でしたが、今では私のかけがえのない宝物です」と村の元気を明るく応援しています。

地域の福祉ニーズが
ひと目で分かる良さ